

自動フォーカス微小硬さ試験機

(株) ミットヨ HM-220D

本装置は 2019 年度 公益財団法人 JKA 補助事業（競輪の補助金）により導入しました。



機器の概要



(株) ミットヨ HM-220D

ダイヤモンドの圧子を被試験物に対して一定の試験力で押し込み、そのときにできるくぼみ（圧痕）の面積から硬さを判断する装置です。試料台を左右 (X) 方向、奥行 (Y) 方向に数マイクロメートルの精度で正確に移動させ、極微小荷重を付加することが可能なため、薄膜層や表面硬化層の断面硬さを測定することができます。また、あらかじめ用意したプログラムにより、試料ステージが自動で移動することで、試料表面および断面の硬さ分布を容易に測定することが可能です。

機器の用途

- ①自動車部品等に用いられる焼入硬化層の表面硬さ測定
- ②歯車部品の刃先部分での断面硬さ分布測定
- ③めっき部品等の極表面薄膜層および表面硬化層の測定
- ④マイクロ部品の表面微小領域硬さ測定

● 仕様

- (1) 硬さ試験の形態：ビッカース、ヌーブ
試験荷重 : 0.05~2,000 (g)
テーブルサイズ : 130×165 (mm)
ステージ移動量 : 100×100 (mm)
- (2) その他機能 :
 - 圧痕自動読み取り
 - 自動フォーカス
 - プログラムによるパターン測定
(ライン・ジグザグ・マトリックス・円弧等) が可能

● 問い合わせ

甲府技術支援センター
工業材料科 TEL:055-243-6111

